

# きらぽかひろば

Vol.50 2020年4月・5月号

きらぽかひろば ひとが輝き、ぬくもりとuringおいに満ちたまち 西区

## 乳幼児期の子どもとその保護者が気軽につどえる広場です

日時：月・火・水・木 10:00～15:00

金 12:00～17:00

(土日祝はおやすみです)

対象：おもに0歳～就学前の子どもと  
その保護者

場所：西区民センター1階  
(西区北堀江 4-2-7)

費用：無料  
(出入り自由 スタッフ2名常駐)

電話：080-8511-8773



きらぽかひろばフェイスブック

<https://www.facebook.com/kirapokahiroba/>



時間内ならいつでも、いつからでもどうぞ。

ちょこっと立ち寄られるかたも

たべもの持参でゆっくりされるかたも

みんなのスペースで会いましょう

「そのままの自分であることができる」

「妊婦さんも安心してつながれる」

「子どももおとなもともに育ちあう」ことを大切に、

誰もが居心地の良い場をみんなでつくりましょう。

気軽にお立ち寄りください。



### 病気

病気をしながら免疫力を高め、  
育っていく面もある。

多くの人が集まるところに行ったり、保育所、幼稚園などに通ったりすると、様々な病気をもらうことも多くなります。病気になると、かかった子ども自身がつかったり、看病が必要になったりすることからも、できる予防はしておくほうがいいような気がします。

わたしも、全ての予防接種を受けなければ！と、スケジュール帳と必死でにらめっこをしていましたが、子どもは、予防接種を受けるたびになぜか熱を出していました。予防接種との因果関係がないのかを、接種してもらった小児科の先生に聞いても、「関係ないと思いますよ。次の予防接種はいつにしますか？」との返事。しだいに「予防接種の副作用は大丈夫だろうか」「菌を避けることがからだにとって必ずしも良いことではないのでは？」と思うようになりました。

子どもはさまざまな病気を経験しながら、免疫力を高めて育っていく面もあります。過度な感染症排除の風潮について、1度立ちどまって考えたり、出回っている情報を精査したり、話し合う機会があってもいいのではないかと思います。

♡♡♡♡ つぶやき ♡♡♡♡

アトピー、アレルギーなど、病気にかかるのは、親のせいって言わないで！

保育所に行ったら病気ばかり…予防はしておきたいなあ。でも、子どもが病気でも仕事を休めない社会も問題では？

「水疱瘡になったら教えてね、もらいに行くから～」と言われました。かかった本人はつらいはずだし…これってどうなん！？

冊子『新しい子育て・子育て支援 子育て温泉』より  
公益社団法人 子ども情報研究センター 発行・販売  
(有限会社 双葉堂、2011年3月)

ファミリー子育て何でもダイヤルは、あなたのほっとチャンネルです♪

毎週 水 曜日 10:30～20:00 ☎ 06-6585-9287

小さな悩み、大きな悩み… 誰かに話すとすっきりするかも…

きらぽかひろば(公社)子ども情報研究センターが  
運営しています HP: <http://www.kojoken.jp/>

公益社団法人  
子ども情報研究センター